

川崎医科大学附属病院 がんセンターNEWS

Vol.8 2011 夏号



下北半島、仏ヶ浦：撮影 園尾 博司

- 食道・胃腸内科のご紹介
- 第9回 Cancer Seminarレポート
- 第50回 日本肺癌学会中国四国支部会レポート
- 第6回 高梁医師会がん診療地域連携懇談会報告

インフォメーション

- 第6回 Oncology Seminar
- 第9回市民公開講座
川崎医科大学附属病院がんサロン
- オープンカンファレンスのご案内



消化管内科(食道・胃腸内科)のご紹介

食道・胃腸内科部長 春間 賢

食道・胃腸内科では食道、胃、小腸、大腸の疾患の診療を行っております。対象となる疾患は、腫瘍性疾患では、食道癌、パレット腺癌、胃癌、十二指腸癌、小腸癌、大腸癌、また、各臓器のリンパ系腫瘍、粘膜下腫瘍などがあります。最近では、NBIやFICEなどの強調画像を用いた内視鏡診断が進歩し、咽喉頭領域の小さな、早期の癌が発見されるようになり、咽頭癌、喉頭癌の診断や内視鏡的治療も、消化器外科、耳鼻咽喉科と共同で行っております。良性疾患では、逆流性食道炎、食道アカラジアやびまん性食道痙攣症、咽喉頭異常感症などの機能性疾患、ピロリ菌の除菌、消化性潰瘍、機能性ディスペプシア、消化吸収障害、過敏性腸症候群、炎症性腸疾患、便秘など、幅広い疾患の診療を行っております。

当科の特徴は、腫瘍性疾患はもとより、炎症性疾患や機能性疾患に至るまで、消化管のすべての疾患に対応できる検査と治療を行っていることです。内視鏡やエックス線検査による診断はもとより、腹部超音波検査による消化管疾患の診断、カプセル内視鏡、ダブルバルーン小腸内視鏡、さらに、胃・十二指腸機能検査、消化管の内圧検査、食道・胃内pHモニタリングなど、あらゆる消化管の機能検査も行っております。消化管のすべての検査が行える、世界で唯一の施設です。最近が高齢者や、重篤な基礎疾患を持つ患者さんが増え、検査そのものが患者さんだけでなく、医療



サイドにも負担となっておりますので、このような患者さんには、負担の少ない超音波検査や、経鼻内視鏡を積極的に取り入れております。また、積極的に新しい医療を取り入れるため、ピッツバーグ大学、オックスフォード大学、大阪府立成人病センター、国立がんセンター、国立静岡がんセンターなど、国内外の施設に積極的に研修にも行っております。

第9回 Cancer Seminarレポート

産婦人科部長 中村 隆文

平成23年6月11日(土)13時30分より川崎医科大学校舎棟 7階M-702教室において、中国・四国広域がんプロ養成プログラム インテンシブ生涯教育コースと川崎医科大学附属病院がんセンターの共催による第9回Cancer Seminarが開催されました。テーマは“女性と癌”で4つの講演がありました。講演1では川崎医大産婦人科学 郭翔志講師より“婦人科癌(子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌)の治療方針”で婦人科癌の治療ガイドラインをわかりやすく説明をしていただき、講演2では川崎医大産婦人科学 下屋浩一郎教授より“妊娠中の癌の取り扱い”で特に妊娠中の抗癌剤の胎児への影響についての説明がありました。講演3では川崎医大産婦人科学 中村隆文教授が“子宮頸部前癌病変の診断・管理・予防”で近年若年女性に増加している子宮頸癌の早期発見と治療について説明がありました。最後の講演4では大阪大学大学院医学研究科産科婦人科学 榎本隆之准教授より“早期子宮頸癌と妊娠”というテーマで講演していただきました。榎本先生は妊娠中の子宮頸癌の治療として日本ではじめて子宮頸部広汎子全摘出術に成功されました。無事に帝王切開で出産した患者様の喜びの音が聞けて感動的でした。女性が妊娠中に癌と診断された時に産婦人科医師は母体を優先して治療するのが原則ですが、患者様の希望で胎児優先の治療を選択することもあります。今回榎本先生が紹介されたような母児共に助けることができる癌治療法の今後の発展が期待されます。



第50回日本肺癌学会中国四国支部会を開催して

呼吸器外科部長 中田 昌男

平成23年7月15・16日に倉敷市芸文館で第50回日本肺癌学会中国四国支部会を、呼吸器内科 岡三喜男教授主催の第46回日本呼吸器学会中国四国地方会と共同開催しました。例年のない早い梅雨明けで快晴に恵まれ、期待を上回る500名以上の参加をいただき盛会裏に終了しましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

今回の学会のテーマは「新たな半世紀へーEBMと実地臨床の統合ー」としました。中国四国地区は、呼吸器関連の診療・研究が活発に行われていることで全国的に知られており、多くの臨床研究や知見がこの地方から発信されています。しかし一方で実地臨床の現場ではEBMだけでは解決できない症例も多く経験します。臨床研究も個々の経験もいずれもおろそかにできるものではなく、様々な経験の中から認識を共有できればとプログラムを企画しました。おかげさまで非常にレベルの高い発表が相次ぎ、有意義な交流の場を提供できたと思います。また今回は両学会あわせて研修医演題54題・学生演題5題と例年のない多数の若手の発表がありました。当院からも研修医3名、医学生1名が立派に発表してくれました。次代を担う若手の今後の発展を期待したいと思います。



第6回高梁医師会がん診療地域連携懇談会報告

平成23年6月23日(木)高梁医師会にお邪魔し、第6回目となる「がん診療地域連携懇談会」を開催させていただきました。今回は事前に医師会のほうで会員の先生方にアンケートを取ってくださり、その中でご要望が多かった「在宅における終末期医療について」をテーマに企画させていただきました。

まず初めに当院の臨床腫瘍科 山口佳之部長から「在宅医療の方向性と現状～高梁地区における在宅医療のアンケート報告～」について講演させていただきました。アンケートの結果をお示ししながら、県南西部で立ち上げた「緩和ケアフォーラムAln岡山」における地域一体型緩和ケアネットワークの確立に向けた活動を紹介させていただき、施設間の情報交換、問題共有、解決等の取り組みについて発表させていただきました。続いて倉敷市玉島の守屋おさむクリニック 守屋修院長から「診療所における在宅緩和ケアの現状」についてご講演いただきました。守屋先生からは実際の在宅医療のご紹介から診療の際に出会うさまざまな問題点まで具体的なことについてご発表、ご意見をいただき、非常に貴重なお話を伺うことができました。最後に当院の医療ソーシャルワーカー中倉智恵美主任から「在宅支援への取り組み～ソーシャルワーカーの立場から～」についての講演があり、患者さんが安心して在宅医療が受けられるよう福祉制度の利用等の紹介がありました。



当日は医師会の先生方をはじめ、大勢の医療従事者の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

がんセンター活動予定

第6回Oncology Seminar

(看護師・コメディカル向け)

日時：平成23年9月3日(土) 13:30～16:00
場所：川崎医科大学 校舎棟7階 M702教室

テーマ

「がん患者QOLの維持・向上を支援する」

講演

- ①「がん患者のトータルベイン」
弘中 克治 (川崎医科大学附属病院 臨床腫瘍科医長)
- ②「医療福祉相談室の活動の実態」
河村 順子 (川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター 医療ソーシャルワーカー)
- ③「緩和ケアチームの実態～尾道方式～」
瀧辺 陽子 先生 (尾道市立市民病院 緩和ケア認定看護師)

第9回市民公開講座

川崎医科大学附属病院がんサロン

日時：平成23年9月17日(土) 13:30～16:00
場所：川崎医科大学 校舎棟8階ラウンジ

テーマ

「がんとともに、自分らしく」

講演 13:30～15:00

- ①「がんに対する国と病院の取り組み」
中田 篤男 (川崎医科大学附属病院 呼吸器外科部長)
- ②「治療の副作用は我慢しない!!」
-私たちがサポートします-
櫻本 崇美 (川崎医科大学附属病院 緩和治療センター看護主任 がん化学療法看護認定看護師)
- ③「つらい気持ちも我慢しない」
山田 了士 (川崎医科大学附属病院 心療科部長)

懇親会 15:00～16:00

オープンカンファレンスのご案内

下記のカンファレンスを行っています。
参加ご希望の際は地域医療連携室までご連絡をお願いします。

呼吸器カンファレンス

呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科(診断・核医学)・病院病理部合同で「呼吸器X線カンファレンス」を行っています。院外の先生方もどうぞご参加ください。気になる症例がありましたらレントゲンをお持ちいただいても結構です。

日時 第2・4月曜日 18:00～19:00

場所 9階中病棟 第2カンファレンス室

大腸癌化学療法カンファレンス

外科・内科・臨床腫瘍科・放射線科の医師・看護師・薬剤師など多職種からなる医療チームで、外来大腸悪性腫瘍に対する治療方針(化学・放射線療法プロトコル・手術介入など)の決定についてのカンファレンスを行います。院外の先生方や医療スタッフの皆さまもどうぞご参加ください。

日時 第1・3金曜日 17:30～19:00

場所 本館10階 遠院治療センター

緩和ケアカンファレンス

毎週木曜日13:15から14階西カンファレンス室で緩和ケアチームのカンファレンスを行っています。

Case Conference

各診療科から症例を提示し、その診断と治療およびケアについて複数の診療科で、また医師・看護師のみならず広くコメディカルも参加して横断的かつ総合的に討論し勉強する症例検討会です。

日時 第2木曜日 18:00～19:00

場所 川崎医科大学 校舎棟M703号教室

Nutrition Support Team(NST)カンファレンス

毎週火曜日14:00から14階南カンファレンス室でNSTミーティングと勉強会を約1時間行っています。どなたでも参加可能です。



川崎医科大学附属病院

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577

TEL 086-462-1111(代表)

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/>

紹介患者さま受診予約窓口

■地域医療連携室

TEL (086) 462-1111(内線22611・22613)

FAX (086) 464-1166

E-mail renkei@med.kawasaki-m.ac.jp